

車道と歩道の段差について

天久保付近の歩道では、車道と歩道の段差が 2cm 以上あり、横断歩道を渡る時に車椅子だと乗り越えるのが困難な場合があります。(写真 1、写真 2)

写真 3 のように、なだらかになっているのが望ましいです。または、熊谷 UD (ユニバーサルデザイン) ブロックの設置を希望します。



写真 1 松見通り 天久保 1 丁目 10 付近



写真 2 松見通り 吾妻中学校とメディカルの交差点



写真 3 松見通りと北大通りの交差点



参考: 熊谷 UD ブロック

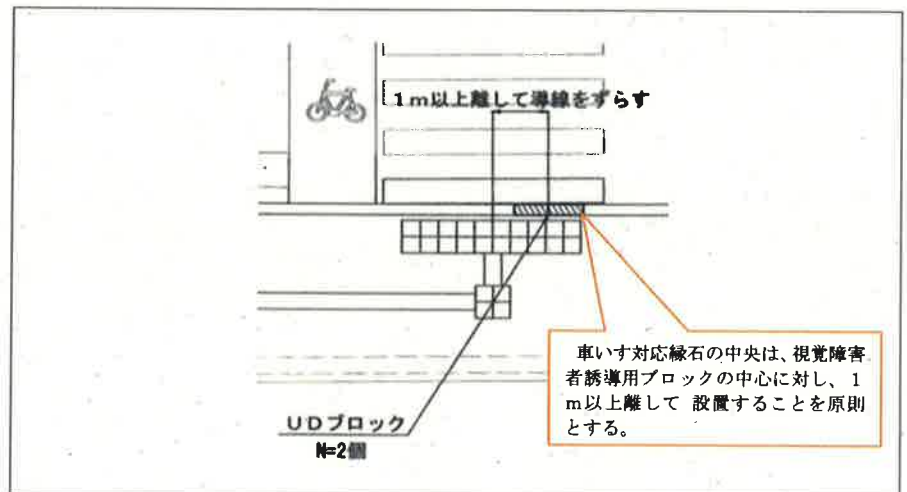


図 3-11 車いす対応縁石の配置例

出典: 鳥取県福祉のまちづくり 施設整備マニュアル

参考: 国交省 利用者ニーズを踏まえたユニバーサルデザイン化の進め方事例より

●移動等円滑化促進地区について

基本理念として、「つながりを力に「誰も取り残さない」まちづくり」とありますが、移動等円滑化促進地区が3地区では少ないと思います。

→松代、並木、万博記念公園駅、みどりの駅、荃崎地区、筑波山も入れてはどうでしょうか？松代や並木は生活関連施設が多いです。TX 沿線の万博記念公園駅、みどりの駅は、これからも人口が増え、みどりの市民プール（仮）が建設中で生活関連施設も増えると予想されます。荃崎地区や筑波山は住民提案がありました。国交省のマスタープラン策定の手引きには、災害時の避難経路のバリアフリー化も重要とあります。荃崎地区は、6月の大雨で洪水の被害が出ています。

●移動等円滑化促進地区の範囲について

どの地区も促進地区の範囲が狭いと思います。

→移動等円滑化促進地区は、今後、バリアフリー基本構想の重点整備地区を策定する際の基準になるので、範囲を広く取って良いと思います。

・つくば駅周辺地区

→天久保3丁目、天久保4丁目、春日4丁目 筑波技術大学や筑波大学が近く、障害学生が多く居住。

→竹園地区 竹園交流センター、竹園東小中学校、竹園高校、竹園ショッピングセンター

・大曾根・筑穂地区

→大曾根小、大曾根児童館（多世代交流施設）周辺

→筑穂1丁目 筑穂交番、カスミ

→大穂2丁目 大穂皮膚科クリニック、公園

・研究学園駅

→イーアスの周り（東側）

→ブランデ、ケーズデンキ

→研究学園小中学校